



平成9年度

# 日置町成人式



平成9年度の日置町成人式が、8月15日改善センターで午前9時から盛大に開催されました。  
対象者80名のうち、61名が出席。成人者を代表して椎野晴恵さん（長崎）が「21世紀を担う社会人として、自分達の行動に責任と自覚をもってがんばっていきます」と誓いの言葉を述べました。  
その後行われた会食は、古谷康弘さん（狩宿）の乾杯でスタート。会場は、終始笑いのたえない和やかな場となりました。

今年新たに社会人の仲間入りをされました八十名の方を代表して五名の美男、美女に成人式を迎えた気持ちと、これからの抱負を語って頂きました。

## 人生の節目に立って



石川茂治さん  
(真口)

江戸時代では十五歳で迎える元服の式、戦前では二十歳の徴兵検査。これらが大人の仲間入りをする年齢であった。現代では成人式がそれにあたる。

『大人になる』という事に対する個人的是非はともかく、人生でいくつもあるイベントの中で、自分または社会というものを考え直す機会が与えられるという点では、成人式は意義深い日の一つである。また、自分もこの人生の節目に、多くの方々から祝って頂けるのは、非常にありがたい。

と感じているが、あまり喜んでばかりはいられない。なぜなら、我々が解決していかなければならない多くの問題が残っているからだ。  
今日の成人の日の意義をよくかみしめ、社会人として改めて自分を見つめなおし、また、現代社会を深く眺め、今自分は何をすべきかを考えると同時に、気楽に、そして教養豊かな人生をおくりたい。

## 「私」という個性を大切に



栢山泰子さん  
(新市)

先日、15日に行われた成人式は楽しい式となりました。久しぶりに会った友人達は皆少しずつ変わっており、大人っぽくなったかのように見えました。私も、皆の眼に「変わった」と映ることができたでしょう。

成人式を迎え、私も一人の大人として決意も新たに成長していくつもりですが、私は変わらず「私」のままです。

たいと思います。  
最後に、今まで育ててくれた両親と、御指導頂いた先生方、支えてくれた友人達に御礼を言いたいと思います。  
「ありがとうございました。これからも見守っていて下さい。」

## 次代を担う青年として思うこと



藤永弘太郎さん  
(原小路)

二十一世紀をあと四年に控えた今、無事二十歳を迎えることができた。  
日本内外に目を向けると、相次ぐ残酷な事件、政治不信等、世間全体が舵のない船のように漂流しているように見える。

「二国の興亡盛衰は、次代を担う青年によって決定づけられる」と言っても過言ではない。  
これからの日本、世界を良い方向へ変えていかなければならないと、二十歳を迎えて痛切に思うものである。